

平成 21 年 3 月 31 日現在

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2006 ～ 2009

課題番号：183330147

研究課題名（和文） 児童青年の対人関係障害に対する多次元のアセスメントによる理解と援助

研究課題名（英文） Comprehension and support by multidimensional assessment for children and adolescents with the problem of personal -relationship

研究代表者 高橋 靖恵（TAKAHASHI YASUE）
（九州大学・人間環境学研究院・准教授） 研究者番号 90235763

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：心理学・臨床心理学

キーワード：臨床心理学・心理アセスメント・児童期、青年期・対人関係障害・心理的援助

1. 研究計画の概要

現代我が国において、対人関係障害を抱えた児童青年に対する理解は、必須の問題である。特にそのような問題を訴える青年の心理アセスメントについては、迅速な研究開発が求められている。本研究では、次の3つの視点から研究を進めていくことを計画し遂行してきている。

- 1) 対人関係の問題を抱えた児童、青年達に対する理解の手段として開発された、**Fairy Tale Test (FTT)** についての日本での施行方法と意義の検討。
- 2) 青年期の対人関係理解及び診断困難事例に対する心理アセスメントの実施、心理療法のプロセスとの総合的検討。
- 3) 広汎性発達障害等の問題を抱えた青年たちに対する心理アセスメントの実施の積み重ねと心理臨床的有用性に関する検討。

2. 研究の進捗状況(目的は要約して表記)

1) 「**Fairy Tale Test (FTT)** の日本語版の検討」：2006年度、予備的検査実施、日本心理臨床学会にて、筑波大学小川俊樹先生らと共に、自主シンポジウムを主催した。2007年7月に小学校において本格実施。創案者の**Dr.Carina Coulacoglou** とアテネにおいて研究検討会議を行い、日本心理臨床学会ポスター発表を行った。2008年度広汎性発達障害を抱える児童に対して試行、その成果を**19th International Congress of Rorschach and Projective Methods.**におけるシンポジウム「**International Researches on FTT**」にて発表を行った。

2) 青年期の診断困難事例に対する心理アセスメントの実施、心理療法のプロセスとの総合的検討：2006年度資料収集のため、**5th Meeting in Cardiff, Wales : The International Academy of Family Psychology** に参加。2007年度、摂食障害、解離、自傷などの問題を抱える青年の心理アセスメント及び青年とその家族との心理療法過程についての詳細な検討を行い、日本家族心理学会、日本心理臨床学会で成果発表を行った。我々の研究経過とその成果の国際的な意義について、**Dr. Anne Andronikof** (国際ロールシャッフ学会会長) と協議し、今後の課題等を明確にすることができた。2008年度、「家族のライフサイクルと心理臨床」を出版した。

3) 広汎性発達障害を抱えた青年たちへの心理アセスメント：2006年度、新たな事例の協力を得てロールシャッフ法の実施を行った。2007年度、日本ロールシャッフ学会において成果発表。2008年度、一連の成果を**19th International Congress of Rorschach and Projective Methods.**におけるポスター発表を行い、その成果の一部は心理臨床学研究に学術論文として掲載された。

3. 現在までの達成度

①当初の計画以上に進展している。

研究1～3のそれぞれが当初独立して遂行していたが、研究が遂行されるに従って、現代の児童・青年の対人関係の諸問題として、健常者から神経症圏、パーソナリティ障害、精神病圏の問題及び器質的に障害を抱えた

児童・青年たちへと幅広い援助に対する検討が積み重ねられている。またそれぞれの研究成果について、その開発者や国際ロールシャッハ学会会長、国際学会でのシンポジウムなど、国際的に本研究に関して造詣の深い先生方と討論会を持つことができ、文字通り国内外へその成果を発信できることができた(2007年及び2008年度)。心理アセスメントと援助へという研究から、さらに予防へと研究の展開が望まれ、次期研究計画のビジョンが生成されてきてもいる段階である。

4. 今後の研究の推進方策

1) 対人関係の問題を抱えた児童、青年達に対する理解の手段として開発された、**Fairy Tale Test (FTT)** についての日本での施行方法と意義の検討。

これまで、健常な児童へ及び広汎性発達障害をかかえる児童にも実施してきた。今後は、それらのデータに基づいて、本検査の日本における有効性と問題点をまとめる。加えて、本検査の邦訳版の刊行を計画している。

さらに、その他の心理アセスメントによる多角的な理解によって児童・青年の対人関係上の発達や問題に対する理解を深める。日本だけにとどまらず、諸外国での実施データ比較も行う。

2) 青年期の対人関係理解及び診断困難事例に対する心理アセスメントの実施、心理療法のプロセスとの総合的検討。

昨年度までの摂食障害・解離・自傷などの問題行動を呈する青年期事例の検討をふまえ、今後は、さらにさまざまな問題を抱える事例を幅広くとらえて、ロールシャッハ法の中でも、名大式思考・言語カテゴリーによる対人的コミュニケーションの検討をまとめ、本カテゴリーに関する事例をまとめた著書の出版も計画している。

3) 広汎性発達障害等の問題を抱えた青年たちに対する心理アセスメントの実施の積み重ねと心理臨床的有用性に関する検討。

これまで、青年期アスペルガー症候群事例と高機能自閉症事例を対象として、その特徴をまとめ、心理臨床学研究に投稿するなどして成果発表を行ってきた。今後は、さらに他の心理アセスメントによる知見も含めて、その対人的コミュニケーションの特徴をまとめ、心理診断における有効性も含めた成果発表を行っていく。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 20 件)

①高橋昇 慢性患者の描画の変化と常同性—相互なぐり描き法と風景構成法を用いて— 心理臨床学研究 24(5) 525-536 2006

査読有り

②高橋靖恵・中園照美 家族の心理アセスメント 現代のエスプリ別冊 臨床心理査定セミナー 249-261 2007 査読なし

③森田美弥子 編集及び「投映法によるアセスメント」他 現代のエスプリ別冊 臨床心理査定研究セミナー 285-292 他 2007 査読なし

④高橋靖恵・神尾陽子 青年期アスペルガー症候群のロールシャッハ高機能自閉症児事例との比較検討— 心理臨床学研究 26(1) 121-122 2008 査読有り

⑤神尾陽子 アスペルガー症候群の概念：統合失調症スペクトラム障害との関連における概念の変遷と動向 精神科治療学 23 127-133 2008 査読有り

[学会発表] (計 12 件)

①〇寺崎文香・西見奈子・増岡怜那・中園照美・高橋靖恵・松崎佳子 日本における Fairy Tale Test の予備的検討(2)日本心理臨床学会第 26 回大会 2007 年 9 月 28 日 東京

②〇本嶋可奈子・富田真弓・鈴木慶子・高橋靖恵 ロールシャッハ法によるアスペルガー症候群の理解—認知的特徴と対人関係を中心として—日本ロールシャッハ学会第 11 回大会 2007 年 11 月 24 日 名古屋

③Takahashi, Y., Takahashi, N., Kamio, Y., Motojima, K., Tomita, M., Suzuki, K., & Morita, M. Rorschach responses of adolescents with Asperger syndrome and high-functioning autism, using the Thinking Process and Communicating Styles Category (Nagoya University edition)The XIXth International Congress of Rorschach and Projective Methods (ポスター発表) 2008 年 7 月 22 日~25 日 Leuven, Belgium

④ Tomita M, Yoshioka K, Kawamoto M, Nakao T, Nakagawa A, Takahashi Y. Changes of Rorschach responses after treatment in Japanese patients with Obsessive-Compulsive Disorder The XIXth International Congress of Rorschach and Projective Methods 2008 年 7 月 22 日~25 日(ポスター発表) Leuven, Belgium

[図書] (計 5 件)

①高橋靖恵(氏原寛他編) 創元社 心理査定実践ハンドブック (担当章・Consensus Rorschach法) 2006 5/892 頁

②高橋靖恵編著 金子書房 家族ライフサイクルと心理臨床 2008 143 頁

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)

○取得状況 (計 0 件)

[その他]